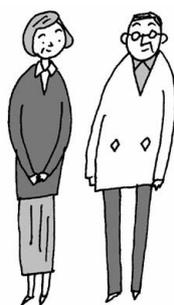


ココが聞きたい！

公的年金を補う 自分年金づくり

Q1

自分年金ってどういうもの言うのか？
どうやって準備すればいいの？



「つくり方はまったくの自由だが、
まずは自分年金に適した制度・商品の検討を

自分年金とは、公的年金を補うために、自分で（任意で）備える年金のことである。

なので、お客様にQ1のような質問をされた場合は、将来、公的年金の上乗せとなるような資金（収益）であれば、それらはすべて自分年金であり、その意味では、

自分年金の定義は非常に広いということをお伝えしたい。

例えば、コツコツ積立預金をして、将来、その貯まった資金を取り崩すのも自分年金であるし、純金積立で金を積み立て、老後にその金を売却して年金に充てるのも、自分年金である。不動産投資によ

る家賃収益も、自分年金と捉えることができるだろう。

すなわち、自分年金のつくり方に特にルールはなく、まったく自由であることをお伝えし、お客様の自分年金に対する（心理的な）敷居を下げていただくようにしたい。

自分年金づくりに
適した制度・商品とは？

こうしてまずは自分年金の定義の広さをお伝えしたうえで、次に、もう少し狭い意味で、すなわち世間一般で「自分年金」と呼ばれる制度や商品について触れていこう。具体的には、iDeCoやつみたてNISAといった制度、そして個人年金保険などの商品である。これら制度や商品には、税制上の大きなメリットがあったり、長期の資産形成にふさわしい仕組みになっていたり、また、様々な老後資金のニーズに応えられるような商品設計になっているなど、い

Q1～Q3 藤原久敏

藤原FP事務所 代表
1級FP技能士/CFP®

Q4～Q6 丸山 浩

CFP®

これからの老後資金のプランニングでは、公的年金を「自分年金」で補うという考え方がますます重要となる。そこで本稿では、「自分年金づくり」に関するお客様からの質問・相談に対し、どのように答えればいいのか解説する。